

した。

まず、一つ目の「流域の汚濁負荷量低減対策」としては、利根運河沿川3市の公共下水道整備計画に基づき、市街化区域内の下水道整備の完了を目指す事が提案されています。二つ目が、「導水による希釈と流量確保」の対策で、利根川から常時、毎秒1・0立方メートル程度の導水を行うことによって、流域の汚濁負荷量低減策との相乗効果により環境基準の達成を目指す提案がされています。

「(仮称)利根運河エコパーク」の実現を目指して

平成19年3月に調査結果をまとめ、最終的には、利根運河を核とした自然・歴史・文化が体験できる「(仮称)利根運河エコパーク」の実現を目指します。

エコパークでは、利根運河を中心に、市の醤油醸造所や河岸などを周遊できるコース、谷津田の保全・河川管理への地域住民や都市住民の参加などを想定しています。

さらに、市が独自に進めている江川地区のビオトープ整備との連携も視野に入れ、さまざまな環境整備施策を展開していく計画です。

平成18年度の国土施策創発調査事業として、野



「自然や歴史と調和した美しい地域空間実現方策調査報告書」より抜粋

